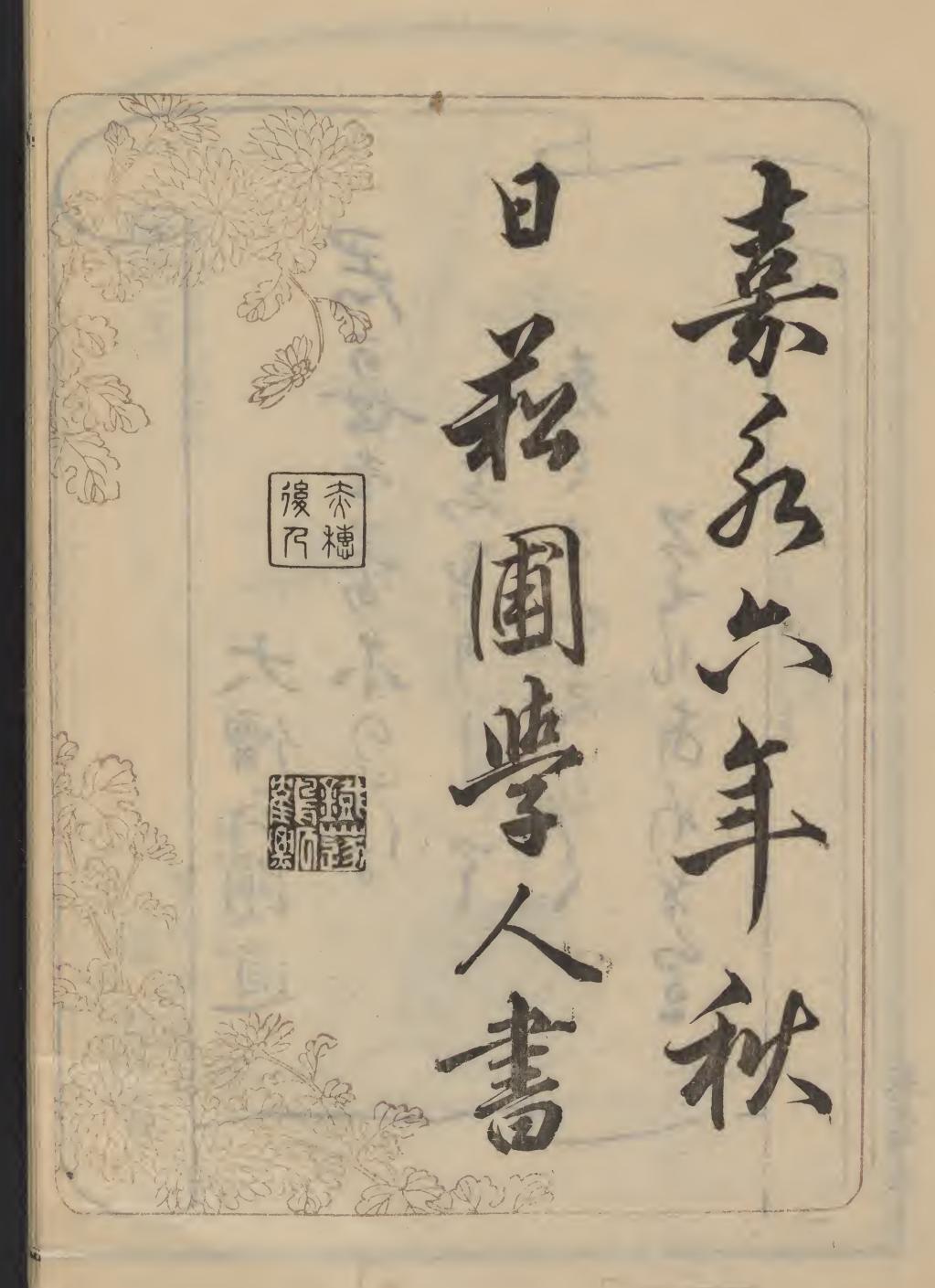
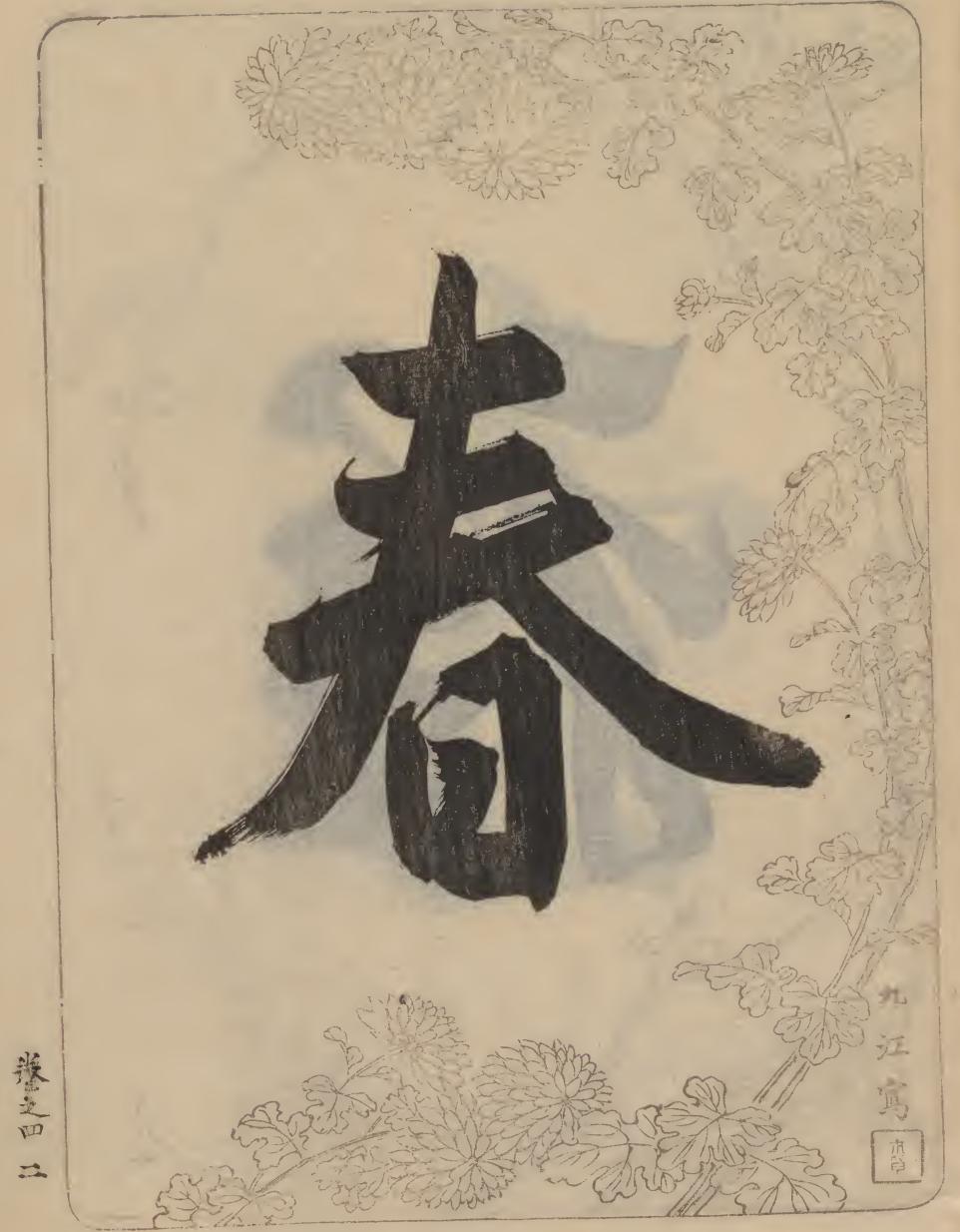




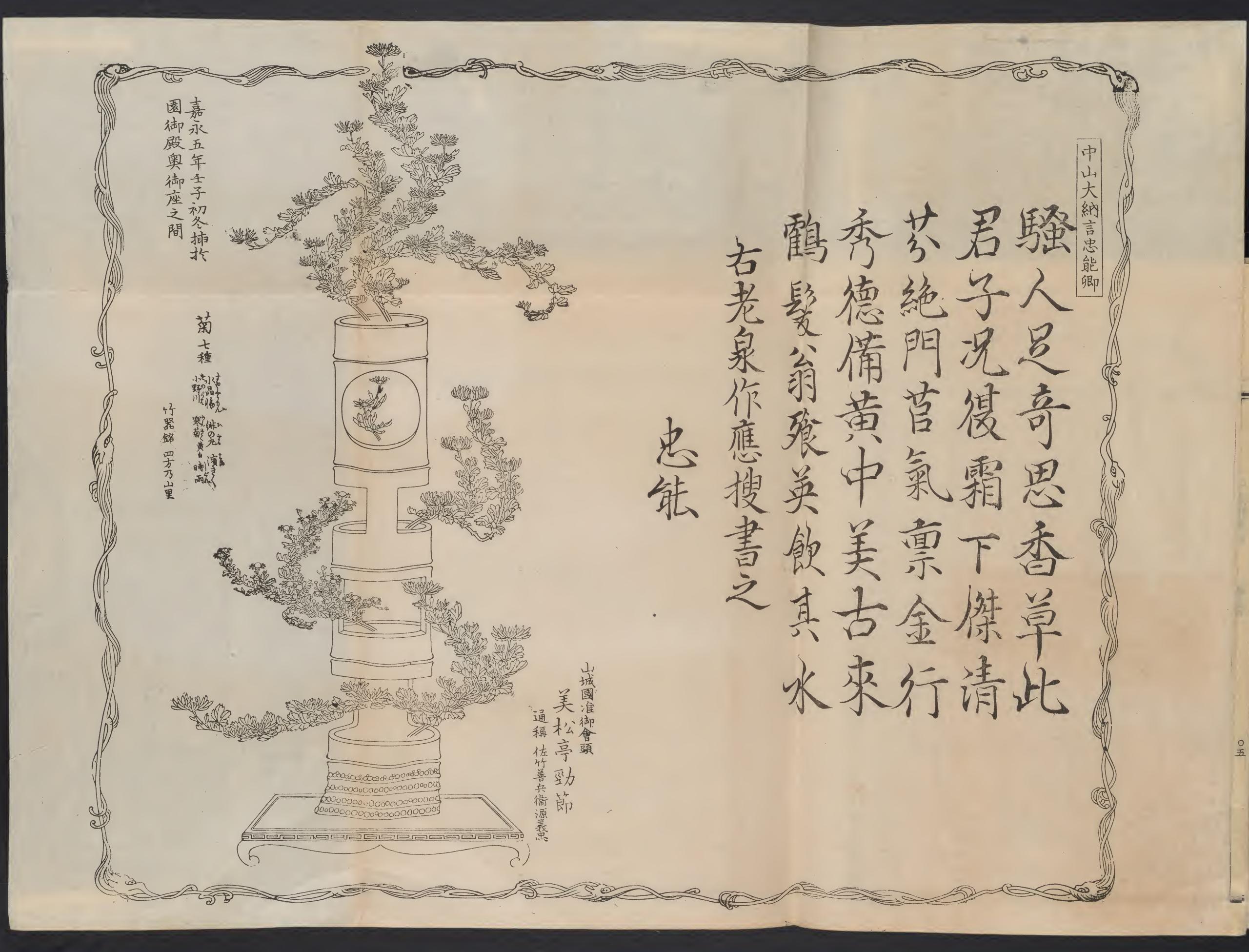
卷之的和



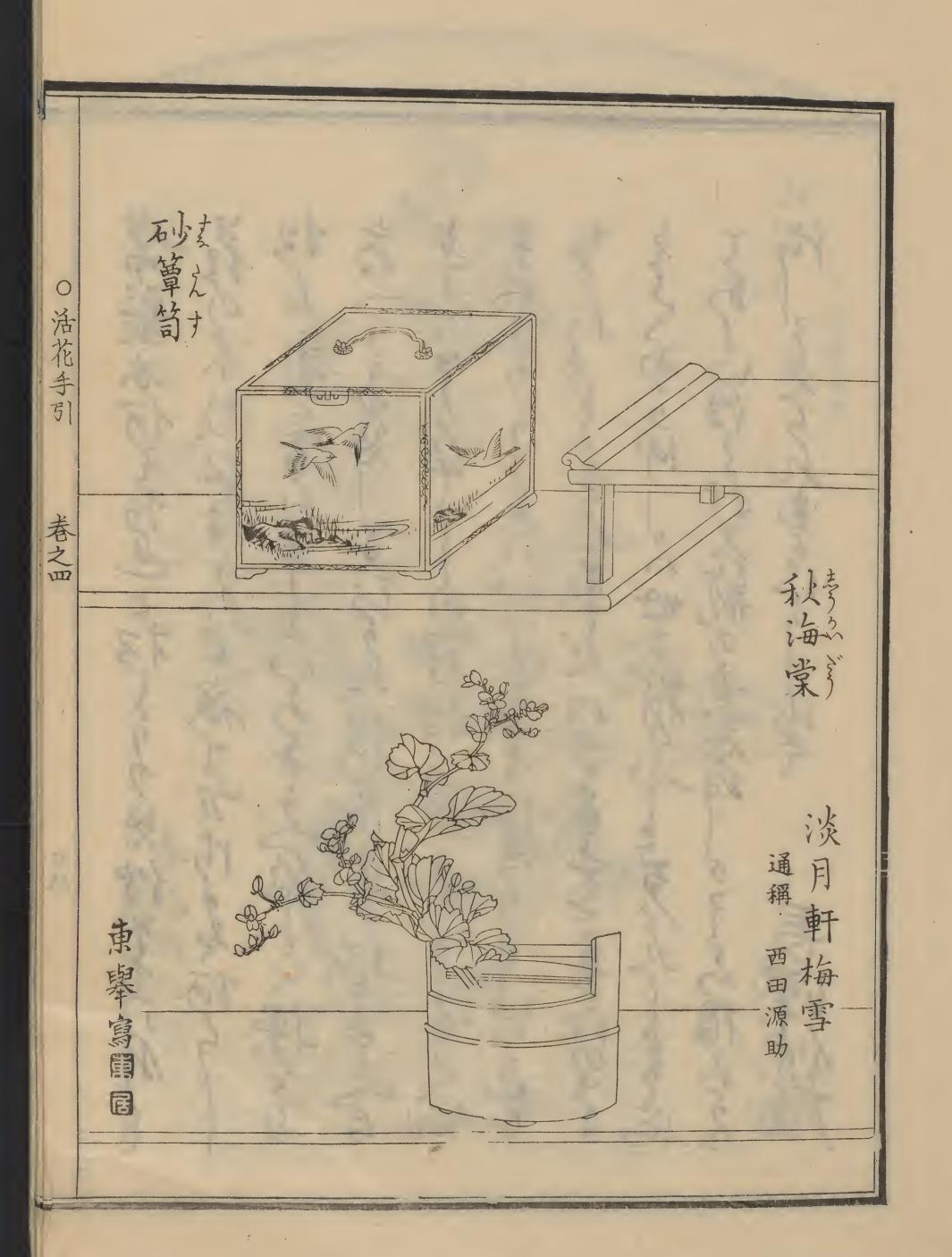


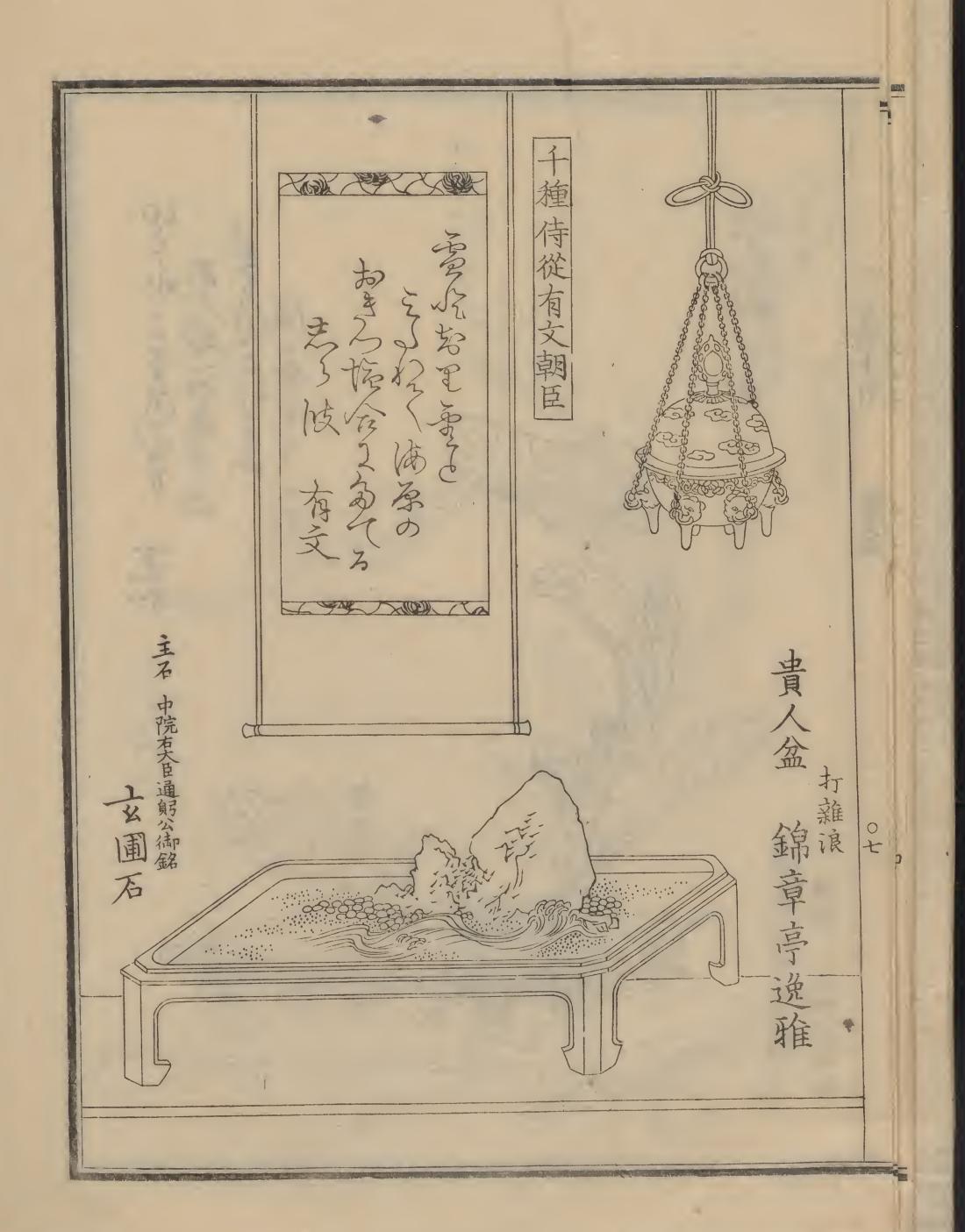










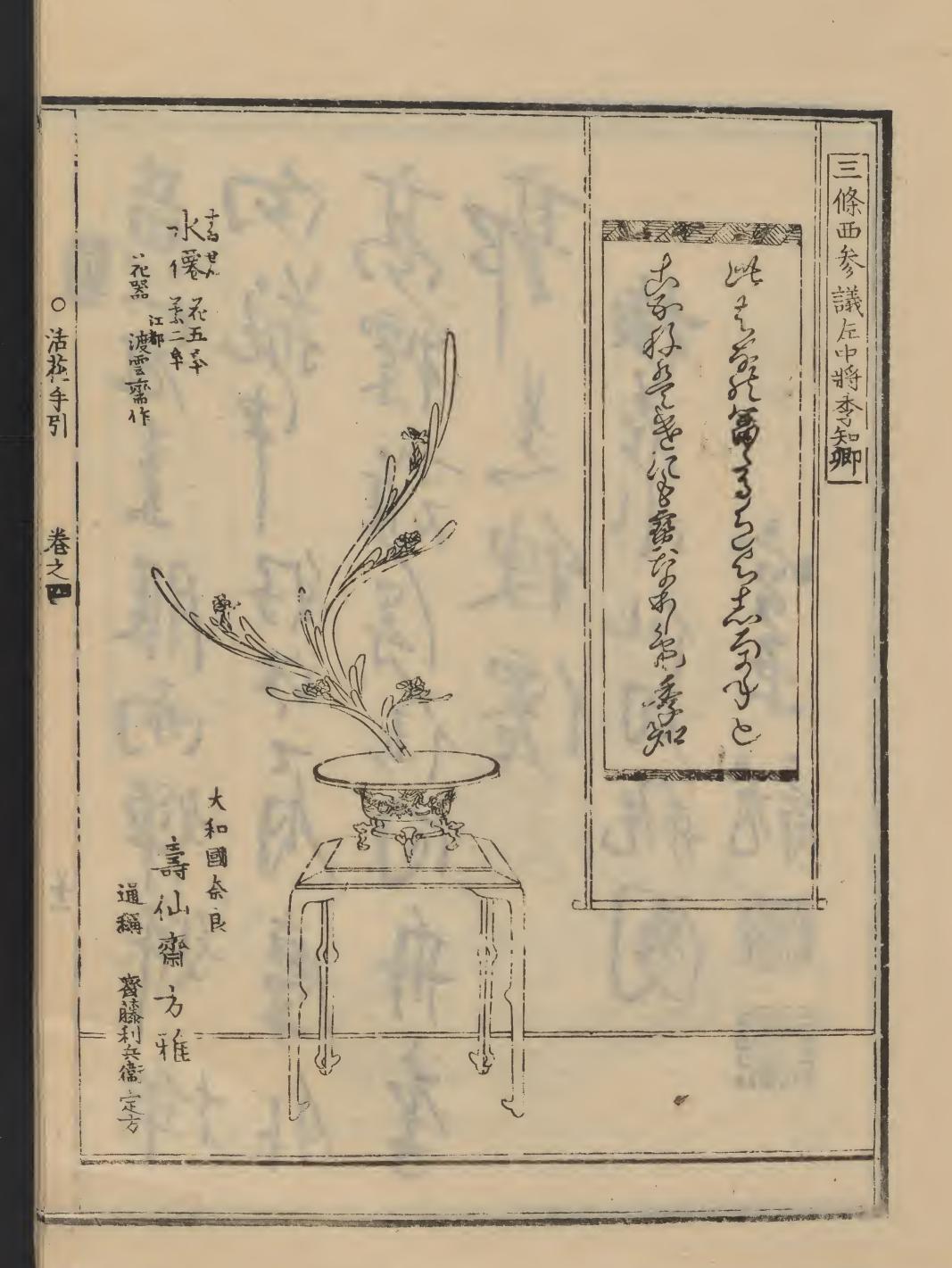


器龍文堂鋳 通稱来原主馬原泰高 松軒和晓 宇

多題本何のりとおり るのまれれまり ちきるろうらいれるを変化 おもっきまるれずるいろとうへ るられるるい りの時代我們の東西的 かっつしいいのととなったと うそんあれれのるときでの 大地多数 の智語は 化機多方片 とりりぬけるとより 国かん 据多级 とかり







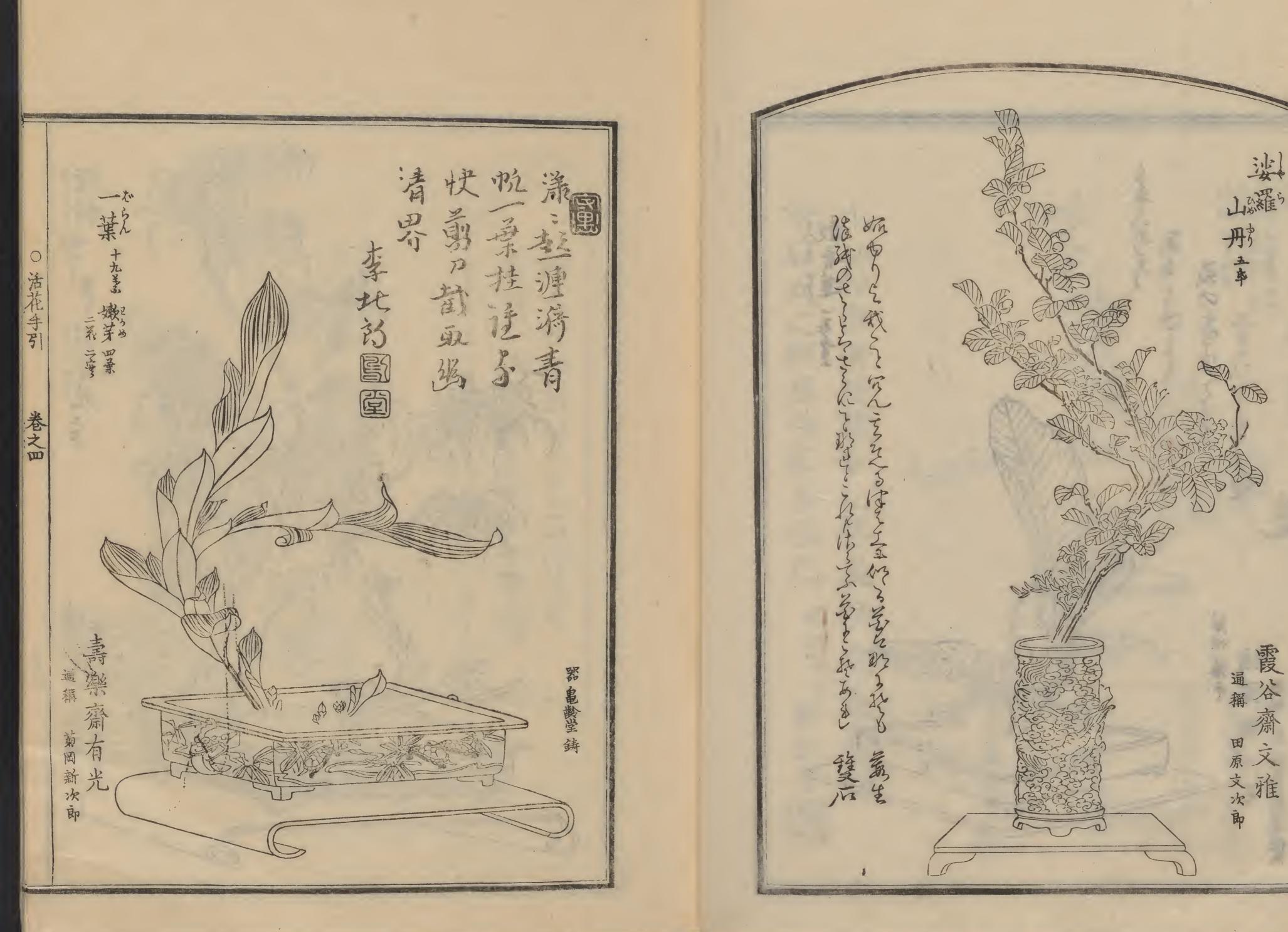


极为 火祭電 〇 活花寺引 からからまろきね 卷之四 拂雲齊哈雅

够 1



北京本村 本村が自 福本村 本村が自 福本村 本村が 本村が 本村が 東京 田本 小仙神骨清絕鐵如心梁玉清之 后氏心翔局羊家净琬也 ~器 渡雲寫作 摘艇史語即新書 流霞亭梅稚 举



ナミ





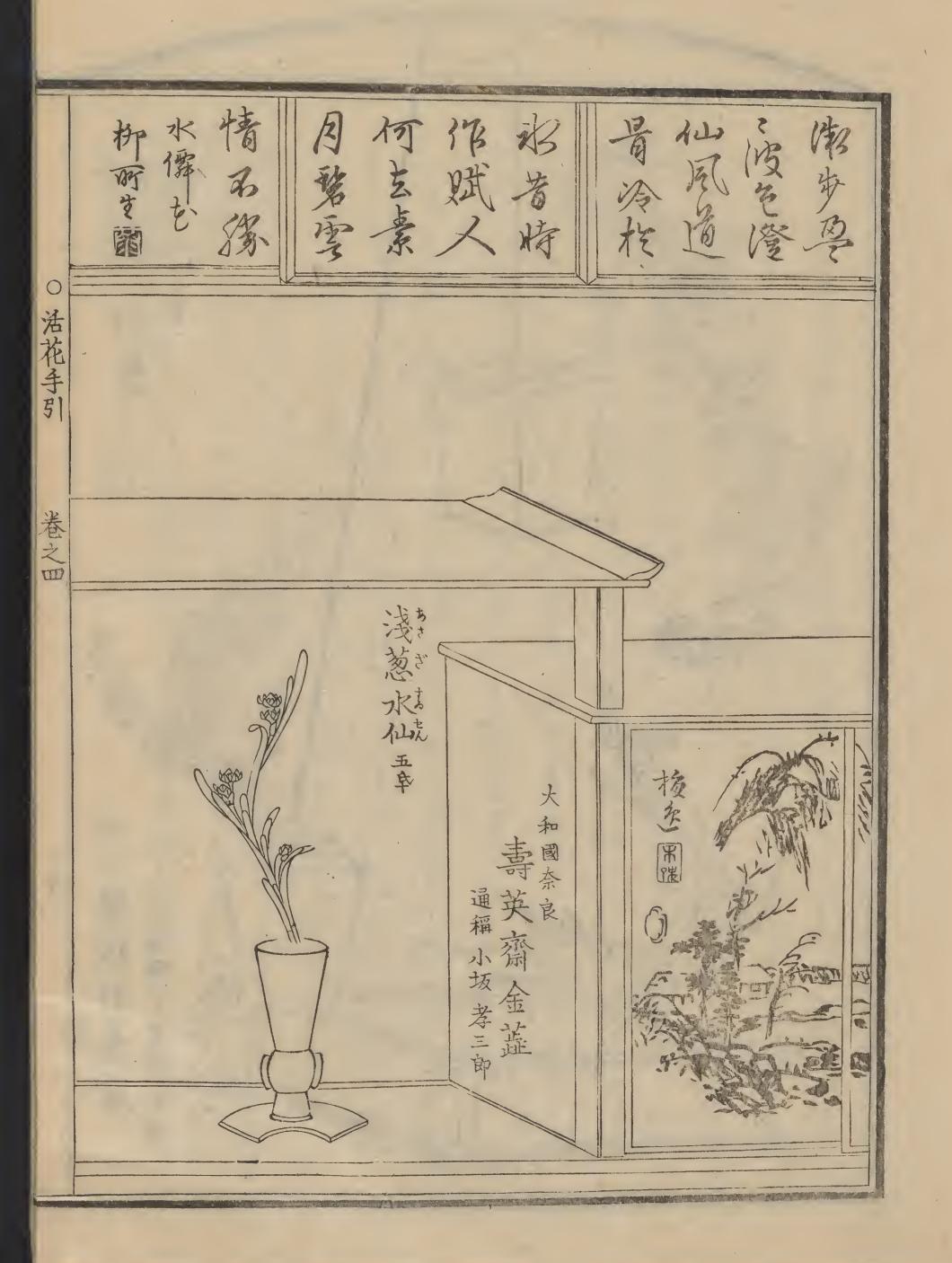


活花手引

卷之四

核 送 出 日店

臨河馬 性 首都 めき 送 適多 0十六 お相談 强。 多





けるる のあら かろう なかられ め気 めのな きるからい SAR CO







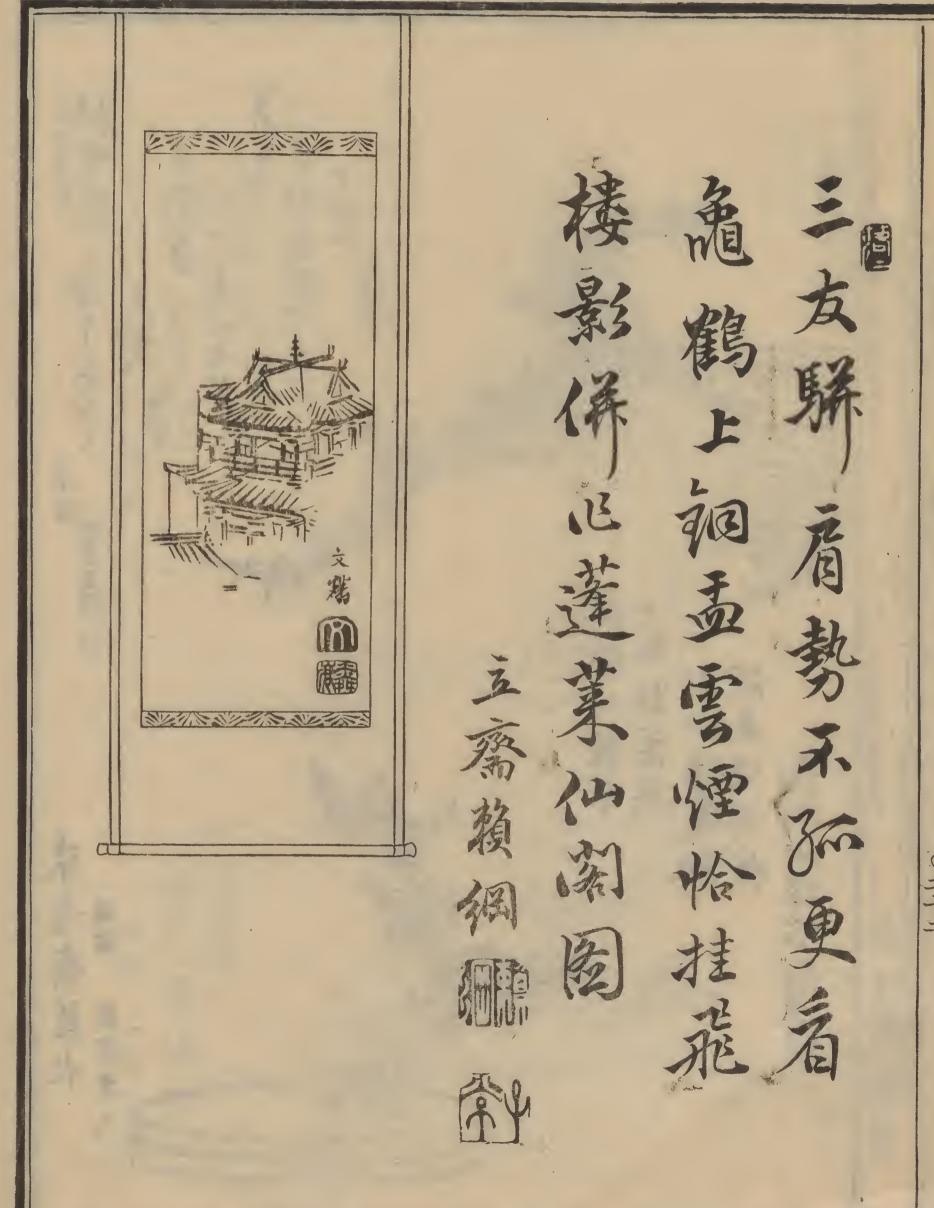












ニナニ

皇國活華赫隆考

考了透了神代中伊那斯美命的靈多多名花多用都容的 今皇國家盛了了行人了活華的使了世發起之人多起光多熟 それれ大古ちり木草の花をりて神を然り霊を鎮和さる子を 皇大神國の古式なるとくいかと更多りされる海時甚れを奉名 聞了了人三枝祭的以三枝花飾酒轉祭了了事会性御典的 子奉名其神の強心は貴級多力を料なれべるの中 状力了了有了人今一推量了好了了了人的吃吃了本来其花 一地基法師が紀行る人文今如紀伊國能野鄉其名存了 一古典的上了昭々か一てそろ為了多方 處多花窟とり 人美為

茶法を轉一个今的茶道を開き初了多其茶道的人心也常力 好後の傳書了 後花園天皇の御字なかしてるかんでくるいはる まる選うなの美藤りなる選らっ花の中でも其枝葉の格好を見次 五少了人有了多多事常的說了此順被相阿防軍本非代 を一直中納言基秀卿一白七多がなる家重了花則を定义 て規則を正す一状形八漏了傳之了を吾園の御家八分古ちり ちきどと皇國八萬事をかりくりてから細少ちはなど、委曲 了記一傳家於國風客人が古書であれてる人事の名名 選之風姿字採成一時到清華の使り起り了監觸人有的 多一を可愛を接口様成一个よる人達以名中を如斯光を

〇活花手引

此時に了権要了了の少少のいりまってあるととなる人既正北自 いけえを用ってり茶道は季明人義政公の物好は代やしまく 兮爐中之香,然浴,路声三缕之煙之名为了如一古一了就多 或い印土の釋迦女佛が指華微笑を起るくい以或い阿羅漢阿難事 動者之香匙火箸, 好好的随外之花飛疑於品山千葉之雅芬都 去惠法印が要条往来、卓懸金欄置胡甸之花随机熟錦織立 知己ぞう然多多兴伎の監勝多諸家諸流。傅今ら趣過でうて 如子なが尚時りとうださん若巷墨杯り設の有了事八著明 後十一て記い了車という。更是他義政公の時中心書院の 御飾事排花を用以一事奉堂觀左右御節記る人人

成了人元来草木乃花の萬國口勝色で立然名美麗子が故かれた 彼赤縣印土りとうらうか類人ち、ではで其草木のそるの殊る あれば唯佛了供してされるき一己の愛閣の為のころうと皇國 ふれ節事富了常安枝多用いて活花を愛ころちり八七と 説かれがあれているろくかい印土赤縣りも花り独多事どろい むく其流甚流りて尚さめくりもいっち 發うというでは赤縣の表件的が規夫張謙徳が観花譜陳沒子が 一人高貴等重でりかるも更かり士族乃上了治りても時月 花鏡から、脱花の事子記せるをそそとを推連しくうて論つれ 一定がろんとと皆其流祖の己れくかさら 了推量り定りる かれどかみそろ説し

其木種より生出の樹いれ、萬國は勝のて喬木とよりつる 美麗言由緣与神代五十猛神の天上上包木種多多子持下了给 致水了扶桑の大樹の生出了地方的一皇國乃總称字赤縣 古事記りろう和泉國乃大木伊豫國乃桂木なでいて多く 被景行紀から筑后國乃歷木風土記から近江國の栗樹を始め 限了好人才心了了老人以神之名和一与十 聞为殊了木花之佐久夜毘賣命子中了狗名多樓大刀自神 多好教と唱人其華了可愛多稱答了東華青華と云祭七 一字諸審國人殖给太子一个特は皇國 一くらう機樹の霊とすれる今尚華と 0世五 す殖置给て そろ成生努る 人が此花

までしか地位の支信八個な分別了数々のかんとちってる 其源了青山人子號多見与艺学的别了了多大 天照皇大御神の高天原了御座時須佐之男命乃種也荒惡行事 華多了一種以皇國一名今活花的技巧真盛了菜的红点 園的家乃治華乃道としるいく古人大世子高部流と唱 をとう天力神の御量了了人々能智野椎乃神等の山野 乃花を持別了幸い给了神事女人多思也多 ようはきいかく花祖与八神の生ませる國子 わきて大教教は真動を事かり 给沙 うちょ青山をから山くか 一日平田翁が考記らんえ 一治了事の有りるが て他國生石を うくて書

〇 活花寺引

卷之四

多持下不了皇國自殖生一给了切精·多、勝了本也可立 後子的荒場神學了五十個神馬前人又写近人木種之 祭名主月山のもとなめているいく、深き理なら 〇世六

靈元天皇の御字る 大納言基香鄉く白ちが青山社を高祭

给分子的人唱来了好的咨询 率へとろいりとき、新いる事がもかさ ーふるます もありばれ

之再沒流了事多到各思小人人之名有心人人多

風雅事多常都事的整一喜一色多多 与阿波礼世色例稀好多好平色街世生七台~

今往来自己以後の世中最为行的をよってする中朝日有 惠

其風雅事字仰がどうダや琢車はりめやも 花櫻のでく後漢人乃言立は木徳仁風と養め 草も木も苔むけ温しいりのるて果行をされのまき道

嘉永六年

園

錦章亭水谷有正

0 活花手引

卷之四

〇 活花手引 卷之四

其極法愛勾位置工 色巨學也属者治 产 餐倉師を回淌册 魄 矣业 壽松國全人 后有人溪其 極花枝之 洵 花圖瓷 鹽水水多 會 許多 かれれ

圃 統個地方地 睡水好橋衛衛 如息多分小 烟灰有些果氣 云清 態度

の世七

十级外

から何 鳥魔鹿 為外及五柱月為小 八馬媚態則 是避

共企

